

会議により改正した目標値(改正前も含む。)と年度の進捗を掲載しています。

「平成29年度の数値」は、見込値となっております。数値確定後、改めて進捗状況を報告します。

I 地域経済活性化・雇用創出

◆評価は、目標値が累計の場合には、目標値を5年分割×3年度分とした数値で判定いたします。
 評価については ◎:目標値を達成 ○:目標値の7割以上達成 ●:目標値の7割から5割の達成 ▲:目標値の達成は5割未満 で表示

(1) 新たな産業と雇用の創出・人材育成の推進

項目・指標等	26年度 (基準値)	27年度	28年度	29年度 見込み	30年度	31年度 目標数値 (改正前)	29年度末 見込値	達成率	進捗 状況	成果と課題	今後の取組み	後期基本計画 での取組み
新規就農者数	3人	2人	0人	2人		累計20人 (累計30人)	累計 4人	13%	▲	集落営農の組織化は、進んでいる。また、意欲ある農業経営体への支援を行っているが、担い手となる新規就農者の確保が進んでいない。	H29.3飯山市農業振興計画を策定し、新たな担い手の受入れから定着まで支援する制度を構築。	戦略プロジェクトの推進により、研修から就農まできめ細かい支援策を実施していく。
既存企業支援等による雇用者増加数	29人	55人	21人	32人		累計300人	累計 108人	36%	▲	市企業立地振興条例に基づき、工場用地等の取得や設備投資した企業への助成、飯山商工会議所が行う事業への補助、商業団体が行う事業に対する補助を行っている。さらに雇用者増につなげていく。	既存企業の支援策と合わせて、新たな企業の誘致を推進する。	戦略プロジェクトの推進により、飯山駅前への商業施設、宿泊施設の誘致や、飯山市の自然エネルギーを活用した事業を誘致していく。
人材育成塾参加者数	0人	11人	11人	8人		累計50人	累計 30人	60%	●	人材育成塾により地域での起業・創業を目指す人材の育成支援に取り組んだ。	地方創生推進交付金事業の活用により、さらに参加者を増やし、起業へとつなげる。	施策実施:人材育成塾参加者による、地域の起業、新規事業に取り組む起業者の育成を行う。
土産品開発等による商品化件数	8件	6件	10件	8件		累計50人件 (累計100件)	累計 24件	24%	▲	土産品開発支援制度を促進、また、地方創生推進交付金を活用しての商品化開発を推進。	地方創生推進交付金の活用により、さらに商品化件数を増加させていく。	施策実施:産業間連携による付加価値や魅力の向上の中で、農産物、工芸品、土産品開発とブランド化を進める。

(2) 地域産業力の強化

項目・指標等	26年度 (基準値)	27年度	28年度	29年度 見込み	30年度	31年度 目標数値 (改正前)	29年度末 見込値	達成率	進捗 状況	成果	今後の取組み	後期基本計画 での取組み
起業支援による起業件数	1件	2件	7件	3件		累計25件	累計 12件	48%	▲	飯山市起業支援センターを活用した起業や、起業支援補助事業による起業が進んでいる。	地方創生推進交付金事業の活用により、さらに起業者を増やすための事業を実施していく。	戦略プロジェクトの推進により、AIやIT、IoTをテーマとした事業者の誘致や起業支援を実施していく。
農業算出額(飯山市調査)	75億円	72億円	71億円	未確定		80億円	—	—	—	農業振興計画のアクションプランに基づき、事業を推進している。	農業振興計画に基づき、さらにやりがいと生きがいを支える農業づくりを進める。	戦略プロジェクトの推進により、地域農業を振興し、儲かる農業を目指します。
ブランド米価値向上 食味コンクール国際大会 入賞者	5人	6人	1人	5人		8人	5人	63%	●	飯山産米について、市の事業により、基準以上となったお米について、食味コンクールへの参加を行っている。	引き続き、飯山産の米のブランド化に向けて、食味コンクール等への参加を行う。	施策実施:地域らしさのある営農振興により、飯山産の食のブランド化の推進を推進する。
空き店舗等解消・活用件数	0件	0件	2件	3件		累計10件 (累計20件)	累計 5件	25%	▲	空き店舗取得に係る助成制度はないが、起業支援や店舗改修補助事業により推進を行った。空き家バンクに事業所も登録していく。	空き店舗活用に対する補助について検討していく。	戦略プロジェクトの推進により、空き店舗等を官民連携で再生化を図ります。また、飯山駅前のにぎわい創出やまちなか観光を推進します。
企業誘致・本社機能移転・ 市外流出抑制	1社	2社	2社	3社		累計11社 (累計5社)	累計 7社	140%	◎	企業誘致対策、起業支援センターの活用により、起業誘致、既存企業の流出抑制を図ってきた。	起業支援センターをさらに活用し、また伝統産業の育成と後継者育成を振興していく。	戦略プロジェクトの推進により、IT事業者の誘致、また、自然エネルギーを活用した事業者等の誘致・支援を実施していく。

(3) 新幹線飯山駅を活用した観光交流人口の増加

項目・指標等	26年度 (基準値)	27年度	28年度	29年度 見込み	30年度	31年度 目標数値 (改正前)	29年度末 見込値	達成率	進捗 状況	成果	今後の取組み	後期基本計画 での取組み
観光入込客数	119万人 (うち宿泊91万人)	108万人 (うち宿泊77万人)	105万人 (うち宿泊77万人)	115万人 (うち宿泊93万人)		130万人 うち宿泊95万人 (160万人)	115万人 うち宿泊93万人	72%	○	観光入込客数については、好調なインバウンド需要により、ウィンターシーズンは順調に誘客が図られているが、グリーンシーズンの誘客は引き続きの課題となっている。	グリーンシーズンの誘客に向け、アウトドアスポーツ、アクティビティ等の環境整備等の充実を図る。	戦略プロジェクトの推進により、飯山市の自然、四季、山岳高原資源を活用したアウトドアスポーツの聖地化を目指す。
外国人宿泊者数	5,249人 /泊	6,922人 /泊	7,964人 /泊	19,000人 /泊		30,000人 /泊	19,000人 /泊	63%	●	外国人宿泊者数については、好調なインバウンド需要により、実績が上がってきている。	多言語での観光案内やパンフレット等により、わかりやすい観光情報を提供していく。	戦略プロジェクトの推進により、飯山駅を核とした、信越自然郷の広域連携をさらに充実させ、魅力ある観光地を目指す。
菜の花公園来場者数	4.6万人	4.7万人	4.0万人	4.6万人		6.0万人	4.6万人	77%	○	菜の花まつりを「ハッピーイェロー」というキーワードで、様々なイベント等を実施し、来場者増に結びつけている。	地方創生推進交付金事業により、菜の花に関連する事業や、商品化を展開し、さらに来場者数を増やす事業を実施する。	戦略プロジェクトの推進により、交流人口を増やし、まちなか観光から菜の花公園、道の駅花の駅千曲川等から菜の花公園へと回遊させ来場者増を目指す。

II 若者定住・移住定住推進

(1) 若者定住のための条件、環境整備等

項目・指標等	26年度 (基準値)	27年度	28年度	29年度 見込み	30年度	31年度 目標数値 (改正前)	29年度末 見込値	達成率	進捗 状況	成果と課題	今後の取組み	後期基本計画 での取組み
若者定住のための住宅整備(支援)	7件	5件	8件	15件		累計37件	累計 28件	76%	○	若者定住のための住宅整備(支援)については、順調に整備を実施してきている。	移住者(若い世代)への住宅に対する補助施策の情報提供し、活用をさらに進める。	戦略プロジェクトの推進により、若者向けの住宅を建設し、若者世帯の定住につながる住環境の整備を行う。
地域おこし協力隊員数	1人	1人	3人	3人		5人	3人	60%	●	地域おこし協力隊員の制度を活用し、29年度末見込みでは隊員3人となった。引き続き5人まで増員を目指す。	引き続き、募集や活動推進を続け、地域おこし協力隊員の、飯山市への定住や、起業を推進する。	施策実施: 地域おこし協力隊員による、飯山市を活性化させる事業について支援を行う。
不妊治療の補助対象件数	3件	9件	13件	16件		累計70件 (累計20件)	累計 38件	190%	◎	補助を実施し、また広報等も行い対象件数(利用者)は、目標値以上となった。	引き続き、補助を続け、出産を希望している方の経済負担軽減を進めまます。	戦略プロジェクトの推進により、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を推進する。
婚活事業での成婚組数	2組	1組	0組	2組		累計10組	累計 3組	30%	▲	結婚希望を実現するため、未婚者への出会いの場の提供、情報提供、婚活事業を実施。	引き続き、婚活事業による出会いの場や機会の創出を推進する。	戦略プロジェクトの推進により、若者の就業や通勤の支援を行い、若者の成婚率の向上を推進する。
若者会議提案事業実現件数	—	—	1件	3件		累計10件	累計 4件	40%	▲	若者会議の提言を受け、事業化を検討し、平成29年度は3件実現できた。	引き続き、提言の事業化を検討することと、提言の更新も行う。	戦略プロジェクトの推進により、若者世代に対する施策を充実させる。特に仕事と住居、就職と移住対策を推進する。

(2) 移住希望者の視点に立った総合的な移住定住対策

項目・指標等	26年度 (基準値)	27年度	28年度	29年度 見込み	30年度	31年度 (目標数値)	29年度末 見込値	達成率	進捗 状況	成果と課題	今後の取組み	後期基本計画 での取組み
三世帯同居支援件数	8件	15件	6件	9件		累計45件	累計 30件	67%	●	家庭内での子育てや高齢者介護など世代間での支え合いの推進や、若い世代の市内定住を促進するため、三世帯同居住宅建設支援事業を実施。	目標達成に向け事業を推進する。	戦略プロジェクトの推進により、特に若い世代の定住に向けての支援を推進する。
空き家あっせん件数	12件	14件	8件	7件		累計50件 (累計100件)	累計 29件	29%	▲	使用していない家屋や空いている土地の有効活用を図るため、「空き家バンク情報」として、市内の不動産を斡旋する。	空き家バンクに登録できる物件は多くないが、さらに、空き家に関する情報発信と、物件の登録を充実させる。	施策実施: 協議会等を立ち上げ、物件の登録と、特定空き家等の除去を実施していく。
市の支援を通じた移住件数	38件 (人)	22件 (人)	71件 (人)	80件 (人)		累計275件	累計 173件	63%	●	移住、定住に関するイベントやセミナー、相談会を実施し、また総合的な支援策を実施し、多くの方の移住・定住に結びついている。	さらに、移住・定住に関する情報発信と、支援を充実させる。	戦略プロジェクトの推進により、住宅支援、就業支援、医療充実等の施策を総合的に実施し、移住を推進する。
移住者住宅建設支援件数	12件	8件	14件	15件		累計65件	累計 37件	57%	●	移住者向け住宅建設促進事業を実施。目標件数に向け推進していく。	目標達成に向け事業を推進する。	施策実施: 移住者へ向けた住宅建設の支援をさらに推進していく。

Ⅲ 子育て支援・次世代育成

(1) 子育て支援の充実

項目・指標等	26年度 (基準値)	27年度	28年度	29年度 見込み	30年度	31年度 目標数値 (改正前)	29年度末 見込値	達成率	進捗 状況	成果と課題	今後の取組み	後期基本計画 での取組み
日曜・祝日保育実施保育園	0園	2園	2園	2園		2園	2園	100%	◎	地域で支える子育て環境整備の推進により、平成27年度より保育の拡大(日曜・祝日保育)を実施。	引き続き、保育の拡大継続を推進する。	戦略プロジェクトの推進により、飯山市子ども館を拠点とし、子育てに関する総合的な支援を推進する。
保育料の低減率	44.1%	47.6%	45.4%	46.9%		65%	46.9%	72%	○	第3子保育料無料化実施、国の制度改正に基づき、低所得世帯を中心に保育料の軽減拡大を実施。	引き続き、保育料の軽減拡大の継続を実施。	施策実施:引き続き子育て世代の負担軽減を推進する。
市内小児科診療所・病院数	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所		5箇所維持	5箇所	100%	◎	小児科診療所・病院については、現状の5箇所を維持できた。	引き続き、現状の5箇所を維持。	戦略プロジェクトの推進により、地域中核医療機関を中心に、医師不足の解消を含め、機能充実を図り、安心して暮らせるまちづくりを推進。
子育て環境満足度	22%	—	—	—		50%	—	—	—	子育て環境の満足度調査は未実施。	子育て環境をさらに充実させ、調査実施。	戦略プロジェクトの推進により、飯山市子ども館を拠点とし、子育てに関する総合的な支援を推進。

(2) 次世代育成・教育

項目・指標等	26年度 (基準値)	27年度	28年度	29年度 見込み	30年度	31年度 目標数値 (改正前)	29年度末 見込値	達成率	進捗 状況	成果と課題	今後の取組み	後期基本計画 での取組み
全国学力テスト・体カテスト	100以下	97.8	101.8	100.8		100以上	100.8	100%	◎	学力向上の取り組みについては、学力テストの結果により概ね、目標を達成できている。	対象となる児童・生徒は毎年異なるため、引き続き実施していく。	施策実施:結果の分析データを基に、各学校の指導内容等の工夫改善を推進する。
コミュニティスクール指定校	3校	4校	9校	9校		9校	9校	100%	◎	平成28年度から市内全校でのコミュニティスクールに取り組み、推進できている。	飯山市教育大綱に基づき、地域全体で活力ある学校づくりを推進する。	戦略プロジェクトの推進により、ふるさとを愛しふるさとに帰ってきてくれる郷土愛を育む教育推進。
小中学校でのICT活用	0校	1校	3校	6校		9校	6校	67%	●	小中学校へのICTの活用、導入については、6校に対して実施できた。	飯山市教育大綱に基づき、学校でのICTの活用を推進する。	戦略プロジェクトの推進により、ICTを活用した事業を推進し、グローバルに活躍できる能力を育成していく。

IV いつまでも安心して暮らせる地域づくり

(1) 安心・安全な暮らしの確保

項目・指標等	26年度 (基準値)	27年度	28年度	29年度 見込み	30年度	31年度 目標数値 (改正前)	29年度末 見込値	達成率	進捗 状況	成果と課題	今後の取組み	後期基本計画 での取組み
自主防災会等組織集落	98集落	98集落	98集落	98集落		全集落	98集落	92%	○	災害等に備えた自主防災会については、全集落組織化を目指す。	小規模な集落では、組織化が困難であるが、組織化支援を行っていく。	戦略プロジェクトの推進により、災害時の情報伝達システムを構築し、防災体制の充実を図る。
消防団協力事業所数	14社	15社	16社	17社		19社	17社	89%	○	地域の消防防災力をより充実させていくため、飯山市消防団の活動に積極的に協力する事業所などを消防団協力事業所として認定している。	さらに、認定事業所の増加に向け推進する。	施策実施：地域の非常備消防体制である消防団の維持と強化を推進する。
集落サロン実施箇所数	55箇所	51箇所	53箇所	49箇所		70箇所	49箇所	70%	○	地域包括支援センターにより、集落サロンや介護予防教室等の予防サービスの推進を行った。	地域包括支援センターにより、集落サロンの質の向上・充実、実施箇所数の増を図る。	施策実施：要介護や支援等を必要とする方の地域に根ざした中心拠点として、地域包括支援センターの維持、充実を推進する。
市内公共交通路線数	13路線	13路線	13路線	13路線		13路線維持	13路線	100%	◎	地域住民の足として、地域の公共交通、市内公共交通の路線の充実・維持を推進できた。	引き続き、さらに利便性のよい地域の路線維持を推進。	施策実施：地域公共交通の利便性向上と利用促進についてバス事業者等と連携し推進する。

(2) 地域間連携・産学官等連携の促進

項目・指標等	26年度 (基準値)	27年度	28年度	29年度 見込み	30年度	31年度 目標数値 (改正前)	29年度末 見込値	達成率	進捗 状況	成果と課題	今後の取組み	後期基本計画 での取組み
広域観光連携会議を核とした広域観光事業推進		推進	推進	推進		推進	推進	100%	◎	信越9市町村広域観光連携会議を中心とした広域観光推進を推進している。	北陸新幹線飯山駅を核とした広域観光連携をさらに推進する。	施策実施：信越自然郷エリアのツアー及び滞在コンテンツ造成を推進し、世界水準の滞在型観光地を目指す。
北信地域定住自立圏における連携			計画策定	連携継続		連携継続	連携継続	100%	◎	北信地域定住自立圏における連携については、平成28年度に第2次の共生ビジョンを策定した。(飯山市・中野市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村)	広域連携による、課題の解決に向け推進する。	施策実施：北信地域の自治体の力を終結し、活力ある地域社会の実現を推進する。
観光交流イベント参加回数	12回	14回	18回	20回		20回	20回	100%	◎	観光交流都市による、各種の観光交流イベントへの積極的な参加を実施し、飯山市をPRできた。	引き続き、姉妹都市、観光交流都市等との連携を強化する。	施策実施：都市交流による市民レベルでの地域間交流、イベントへの支援を実施。